

一般社団法人

香川県作業療法士会ニュース

発行：(一社)香川県作業療法士会広報部

事務局：〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁62-1

四国医療専門学校 作業療法学科内

(一社)香川県作業療法士会事務局

URL:<http://www18.ocn.ne.jp/~k-ot/> E-mail:kagawa-ot@star.ocn.ne.jp

お声がかかったら

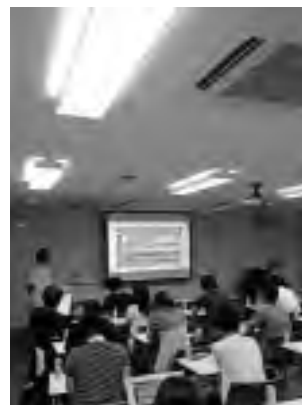
副会長 前田 悠志

7月にOT協会と都道府県士会の合同役職者研修会が開催され、その報告を兼ねた県士会周知会が9月に高松と宇多津で行われ、多くの施設作業療法責任者の方が参加されました。ホームページやニュース紙面で都度ご報告している現状に加え、よりスピード感を持って直接伝えたいという県士会の思いが周知会に詰まっていた。もはや院内の作業療法業務で留まっていたは「遅れるのか」と自問自答しながら聞いていました。

「地域包括ケアシステム」を最近よく耳にするとおもいます。団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供されることを目指し、市町村や都道府県が地域の特性に応じて作り上げていくこととされています。作業療法だけでなく多くの医療・介護の専門団体が領域拡大の為働きかけをしていることは言うまでもありません。下線部からは「それってOT得意」と思うものですが、同時に他職種も同じく思っているものと考えなくてはなりません。既に市町から地域ケア会議等の参画依頼の打診もあると聞きます。

「じゃあ私は何をしたらいいの?」。会員各位が臨床で行っている専門知識は、自身が思っている以上に有益で価値のあるものだと思っています。それを地域包括ケアで活かさないか、県士会でも動き出しています。まずは生活行為向上マネジメントの積極的利用です。円滑に使用できるように研修会も増やしています。次に会員の得意としている分野のデータベース化です。周知会の時にアンケートをお願いしています。また参加していない施設の会員にもアンケートに回答いただけるよう検討しています。県士会で専門知識を持った方が動けるような(市町で参画できるような)体制を整えています。最後に会員や施設に協力依頼があった場合、個人としては動けないことでも県士会であれば動けることもあると思います。断ると「OTは断った」ことになりかねません。そこから先にOTの活用の道が閉ざされることになります。難しい場合は保留し、県士会にご連絡・ご相談いただきたく思っています。

県士会員が500名を超えた今、各々が職場の業務にプラスして上記のことを気に留めてご協力いただけることで、大きな力になることは確かです。地域包括ケアの他にも、認知症への取り組み、特別支援教育、就労支援など作業療法士が必要とされる分野はいくつもあります。必要とされた時、県士会は動けるか。それは会員が動けるか、会員が小さいことでもアクションを起こせたか、これにかかってくると思います。住み慣れた地域で暮らす、またはそれを希望されている方のために私たちにはできることがあります。また、これから作業療法士になろうと専門学校や大学に入学する「次の作業療法士」のために私たちにはできることがあります。





先輩の声

No.11 かがわ総合リハビリテーションセンター病院
池田 加奈
(7年目)



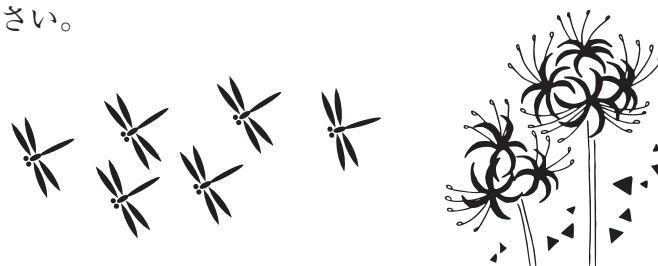
病院ではチームの連携、協働が不可欠です。その「チーム」の一員として皆さんは協働できていますか？ チームの協働について書かれてある谷川正浩氏の「覗いてみたい!? 先輩OTの頭の中」という本を紹介したいと思います。

皆さんは患者さんのオムツ交換はできていますか？ 最低限のセルフケアの介護ができなければ、改善する為の取り組みや御家族への指導もできません。まずは患者さんに役立つことなら何でもやるという気持ちが大切です。

次に臨床の中では患者さんの言動の変化に気づく事があると思います。これはスタッフについても同様です。気づく事は自分の感度を上げる事であり、周囲と自分の状況を理解し、その場で瞬時に自分の取るべき行動を考え、すぐ行動に移すことができます。

この個人の心構えがチームを上手く機能させ、全体の仕事の質、量が向上し結果的に患者さんの幸せにつながるのではないかと考えます。

ここで紹介させて頂いた以外にもチームの協働について必要な事が書かれてあります。是非手に取って読んでみて下さい。



No.12 アシストジャパン訪問看護ステーション
永島 卓治
(13年目)



私は、約13年半、作業療法士として仕事をさせていただいております。4年間、医療機関で勉強をさせていただいた後に、現在勤めている訪問看護ステーションへ入職いたしました。

在宅でのリハビリテーションに携わるようになったきっかけは、医療機関での疑問からでした。退院時には、良くなって帰られる方が多いのに、なぜ退院後に状態悪化される方も多いのかという疑問です。

現在、在宅での関わりの中で、よく目にすることは、生活の中で明確な目的を持って行動されている利用者様は少ないこと。また、家族の過度な介護、誤った介護方法により、依存心を高め、自主的な行動をとらなくなった方が多いということです。つまり、家で「動かなくなり、動けなくなる」。そのような状況が身体機能や能力などを悪化させる大きな要因の1つとなっていることが分かりました。

私はQOLの必要性、重要性などを痛感しており、地域の包括的サービスの一役割としてOTの考え方や手技などはとても重要なポジションにあると考えております。

今後、医療機関から在宅、地域へと密な連携が今以上にとれ、より良い生活の提供ができるように、OTとして、私自身、頑張っていきたいと考えております。



新入・転入会員紹介





今年度も多くの方が県士会に入会されました。これからよろしくお願ひします。(順不同・敬称略)

①氏名 ②生年月日 ③出身地 ④出身校 ⑤勤務先 ⑥趣味・特技 ⑦職歴 ⑧自己アピール ⑨抱負

	<p>①岡田 香 ②平成2年6月18日 ③香川県 ④秋田大学 ⑤五色台病院 ⑥バレーボール ⑨患者様1人1人を少しでも笑顔にできるように頑張ります。</p>
	<p>①森優美恵 ②平成5年3月14日 ③徳島県 ④徳島医療福祉専門学校 ⑤医療法人ブルースカイ松井病院 ⑥読書 ⑧マイペースに頑張っています。 ⑨早く、香川に慣れて、頑張ります。</p>
	<p>①指山真希 ②平成4年3月11日 ③香川県 ④四国医療専門学校 ⑤医療法人ブルースカイ松井病院 ⑥茶道 ⑧元気です。 ⑨至らない点多々ありますが精一杯頑張ります。</p>
	<p>①水上保孝 ②昭和54年11月7日 ③京都府 ④四国医療専門学校(当時:四国リハビリテーション学院) ⑤四国医療専門学校 ⑥ロードバイク、ジョギング、スキーなど ⑦平成14年4月～平成26年3月福井大学医学部附属病院 ⑧元気だけが取り柄です。 ⑨何事にも前向きに、しっかり結果を出していけるよう頑張りたいと思っております。</p>
	<p>①多田瑞紀 ②平成3年6月4日 ③香川県 ④四国医療専門学校 ⑤大杉脳神経外科医院 ⑥音楽鑑賞 ⑧笑顔で元気よく頑張ります。 ⑨作業療法を世間にもっとアピールできるよう頑張りたいです。</p>

	<p>①橋本沙知 ②平成3年4月8日 ③香川県 ④川崎医療福祉大学 ⑤医療法人社団和風会橋本病院 ⑥マスキングテープ集め・水泳・映画鑑賞・旅行・スポーツ観戦 ⑧とにかく全力!!!! ⑨知識・技術を吸収し、患者様に「ありがとう。」と言われる作業療法士になる。</p>
	<p>①森藤拓也 ②平成4年5月6日 ③香川県 ④徳島医療福祉専門学校 ⑤医療法人社団和風会橋本病院 ⑥ライブ観戦・フットサル ⑧どんな時でも笑顔でいることができます。 ⑨今年で多くの事を吸収してリハビリの中で攻めることができるThになる。</p>
	<p>①岩内宏達 ②昭和63年2月5日 ③徳島県 ④穴吹リハビリテーションカレッジ ⑤医療法人社団和風会橋本病院 ⑥釣り 最近は色々な釣りをしています。ギターも少々。 ⑦プログラマーしていました。 ⑧「親しみやすさ」が武器です。 ⑨同期より年上ですが若さで負けないよう頑張ります！</p>
	<p>①眞鍋知佳 ②平成3年4月7日 ③香川県 ④川崎医療福祉大学 ⑤医療法人社団和風会橋本病院 ⑥読書・写真撮影 ⑧なにごとにも慎重に取り組みます。 ⑨今はまだ、先輩方の一から教えてもらうことばかりで迷惑をかけていますが、早く仕事を覚えて社会人としての自覚と責任をもち、一日でも早く社会の戦力になれるよう日々努力していきたいです。</p>
	<p>①嶋亜津沙 ②平成4年12月12日 ③香川県 ④四国中央医療福祉総合学院 ⑤医療法人社団和風会橋本病院 ⑥趣味／アニメ鑑賞・絵を描くこと・音楽 特技／トランペット演奏・模写 ⑧小学校から皆勤です。健康だけなら負けません。 ⑨先輩の作業療法士から知識や技術を学び、少しでも多くの患者様と関わっていきたいです。</p>
	<p>①久米健太郎 ②昭和51年4月19日 ③兵庫県 ④YMCA米子医療福祉専門学校 ⑤専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ ⑥鉄道旅行 ⑨後進の人材育成に力を注いでいきます。よろしくお願ひします。</p>

	<p>①菊見勇人 ②平成4年9月22日 ③香川県 ④岡山医療技術専門学校 ⑤香川井下病院 ⑥映画鑑賞 ⑧笑顔がいいねとよく言っていました。 ⑨有意義な1年にしたいです。</p>
	<p>①二宮健人 ②平成3年10月7日 ③香川県 ④穴吹リハビリテーションカレッジ ⑤阪本病院 ⑨より良いアプローチをできるようになる。</p>

～リレーエッセイ34～

医療法人社団聖心会 阪本病院 上田 恭彦

私は、急性期病棟で働きはじめて4年目を迎えました。仕事や職場環境にも少し慣れてきましたが、新たな課題や日々変化する目標に対し奮闘中です。

主に患者様は整形疾患の術後早期の方や脳血管疾患、認知症を有する方など様々な対象者様に合わせたリハビリテーションを行う必要があります。そのため基礎的な知識はもちろんですが、退院後の住宅改修や介護保険における介護サービス等を含めた幅広い視点を持って関わることができ、充実した環境で学んでいます。

また急性期の作業療法では、患者様の身体機能を中心に現在関わる人が多いのですが、予後予測をしっかりと行いながら生活や参加機能に対するリハビリテーションを重要視することも大切であることが分かってきました。そうすることで退院後も患者様が安心して生活でき、私と関わったことが少しでも生活の一部になれば良いと思います。

そして退院された患者様が病棟に顔を出して、退院後の生活を話してくださると嬉しく思います。その反面、私自身勉強する課題等がみえてきます。そのため、今後も身体面や心理面を含めた総合的なリハビリテーションが行えるように研修にも参加して成長していければと思います。





作ってみよう! 自助具紹介コーナー

田村クリニック 合田 香織

③ 殿部ふきふき棒

☆主な対象疾患・対象者

胸腰椎圧迫骨折などの脊椎疾患（体幹の可動域制限がある場合）、上肢リーチに制限がある方

☆機能・特徴

体幹の可動域制限がある場合、過度な前屈を必要とせず簡単に殿部の清拭ができる。

☆留意点

- ・対象者の手指機能に合わせた柄の太さ、リーチ範囲に合わせた柄の長さを選定する。
- ・対象者個人の体型や上肢機能（リーチ範囲・道具操作）に応じて、使いやすいクッション材のサイズを調整する。
- ・使用時、トイレットペーパーが棒から外れないようにするため、クッション材にビニール袋とトイレットペーパーを隙間なく巻きつける。

☆材料

クッション材（今回はバスマットを使用）、うちわ、接着剤、輪ゴム、ビニール袋（小さめ）

☆制作方法

- ① はさみでクッション材をカットする。
- ② うちわの柄の部分をはさみでカットする。
（対象者に合わせて柄の長さを調整）
- ③ クッション材の下端に穴を開ける。
- ④ ②を③の穴に入れ込み、接着する。

☆使用時

クッション材にビニール袋を付け、柄の部分を輪ゴムでとめる。ビニール部分にトイレットペーパーを巻いて使用する。

使用後は輪ゴムを外し、ビニール袋に包んで捨てる。



連載企画2 第一弾!

老人保健施設と作業療法士の役割

介護老人保健施設 ふぁみりえ 山地 康生

当施設は平成7年に開設した老人保健施設です。香川県内51件ある中の1施設です。利用者には、暖かい家庭の輪が広がるような施設づくりをテーマにふぁみりえという名前を



つけています。在宅復帰を目的に看護師、介護職員に加え、医師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、支援相談員、ケアマネージャーなど多職種協働で利用者の希望に応じています。また、入所中の生活や退所後の生活に支障がないよう、ケアマネージャーを介して生活全般にわたる相談支援を行っています。利用の対象は、介護保険適用者が原則で、特定疾患に認定された方も利用できます。平成26年4月現在、入所定員80名、通所定員35名の方が利用しています。平均年齢87.4歳、女性が多く、平均介護度3.4（日常生活で車いすを使用し、介助が一部必要な方や認知症状が中等度ある方）です。リハビリテーションでは、脳卒中、認知症、骨折、免疫、膠原病などの方が訓練しています。病気や長期療養のため、認知症を伴う方が多くサービスを受け



られています。一口に認知症といっても、指示・理解、言語表出が難しい方から、軽度の介助で日常生活をおくれる方まで入所されています。だから、介護量や認

知症のレベルに応じてフロアーを分けないと、喧嘩や不満の元になり、快適な生活がおくれません。

リハビリテーションの訓練は、週2回以上の個別訓練を実施しています。入所後は、在宅復帰に向けて訓練を組み立てていきますが、まず、施設生活に慣れていただくのが最優先です。そのため、身の回り動作、食事、入浴、更衣、排泄動作の介助量軽減あるいは自立を目的として訓練に入ります。人間は、動作だけの獲得では生活していきません。心の安定を伴って初めて「心身」の安定が得られるのです。不安の軽減や、集団生活の中での協調性も必要です。その他に作業療法士の役割として、新人研修による移乗介助、移動介助方法の指導や、他職種との勉強会では、事故防止委員会や行事・レクリエーション委員会開催での意見交換など、施設全体のレベルアップにつなげています。（作業活動で完成した作品は、毎月行う行事・レクリエーションに使用しています。）利用者のニーズは、十人十色です。抱えている問題が違うため、誘導、指示の仕方が若干それぞれ変わります。他の職種には、うまくいった介助方法や、指示、誘導方法を伝え、より一層良い対応を施設全体で共有する架け橋を作る事が施設での作業療法士の一番大きな役割です。2025年までは、介護保険利用者が増えると統計が出ています。これからもっと幅広いニーズへの対応が求められると思います。じっくり話を聞き、関わっていきたいと思います。

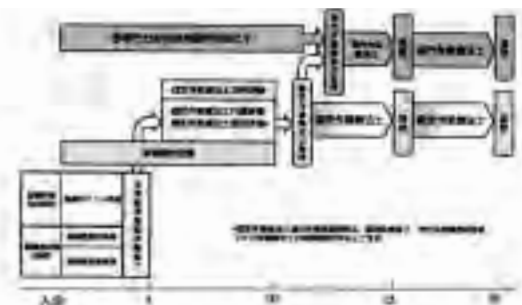


(一社)香川県作業療法士会教育部について ～生涯教育制度のすすめ～

教育部長 福家 亜希子

香川県作業療法士会教育部は、日本作業療法士協会の生涯教育制度にのっとり、現職者共通研修会・選択研修会の開催や、県士会各部委員会の開催する研修会・学会のポイントシールの配布・管理、SIG研修会参加時のポイントシール配布（参加証明書等との交換）、生涯教育制度に関する質問への対応などを行っています。

生涯教育制度は基礎研修修了を経て、認定作業療法士・専門作業療法士を目指すものです（図参照）。基礎研修修了者は2013年度末、全国で2513名となっています。2014年9月末生涯教育推進委員会のデータによると、香川県の基礎研修修了者は38名です。士会会員数における修了者の割合は全国で10位と上位ですが、認定作業療法士の数は全国636名中、香川県は8名で、士会会員数における認定作業療法士の割合は全国で17位となっています。つまり、基礎研修終了後に認定作業療法士取得に向かう流れが十分ではないと言えます。



■ 生涯教育制度の概観図 2013

認定作業療法士取得のためには、基礎研修3講座・選択研修2講座の受講と、事例報告3例が必要です。この研修会は東京・大阪といった主要都市での開催が多く、旅費交通費と時間が必要であり、受講の機会という点で四国の作業療法士には厳しい状況が続いていると、個人的には感じています。しかし、時折、四国や岡山で開催されています。協会誌やホームページで広報されている開催案内に目を通し、機会を逃さず受講されることをお勧めします。

また、事例報告は現在、協会の事例報告システムへの登録1例、ISSN登録された学会誌や書籍での事例報告の読み替え2例の計3例で修了可能となっています。ただ、事例報告の登録においては、字数制限のある中で事例の経過と結果、考察をまとめていく作業となることに難しさを感じたり、登録後の査読審査による書き直し等に困難さを感じているとの声が聞かれます。事例登録はホームページから行います。すでに登録された事例を検索することもできますので、まずは目を通して見て下さい。認定作業療法士取得研修会の参加には、基礎研修修了以外に作業療法士実務経験5年以上という要件がありますが、事例登録に関しては1年目からでも可能です。経験した事例をまとめること・報告することは自己研鑽につながるとともに、作業療法の効果や意義を他者へ伝えるためのデータとして、また同じような事例で困っている仲間へのヒントとして、活用されるものですので、ぜひトライしていただければと思います。

専門作業療法士取得研修会は1年目からでも受講が可能な各分野の専門的な研修会となっています。香川県では2年に1回、福祉用具の研修会を開催しています。2015年に開催予定ですので、福祉用具にご興味のある方は是非ご参加ください。

病院紹介



No.5

さぬき市民病院

さぬき市民病院では、主に中枢疾患や呼吸器疾患、整形外科疾患の患者を対象に急性期から在宅まで一貫したリハビリを総合的に提供しています。また地域包括ケア病床の運営が平成26年10月から開始します。

当院の作業療法士は、院内4名、訪問1名の計5名で構成されています。

OTは、基本動作訓練からADL訓練まで幅広く行っています。ADL訓練では自宅退院を目標に家族や本人からの要望が強いトイレ動作訓練をPT、Nsなど他職種と協力し早期から実施しています。また、自宅への退院前に外出訓練や退院前カンファレンスを行い、他職種と共に動作能力の確認や環境整備などの話し合いを持つようにしています。

リハビリ室横には庭園があり、屋外歩行訓練や車椅子の散歩だけでなく、簡単な農作業ができるようになってきました。患者の多くは農作業の経験があり、庭園での作業は気分転換や精神ケアにつながり、リハビリ意欲や活動性の向上に大いに役立っています。今後さらに高齢患者が増えていく上で、身体に対するリハビリだけでなく、精神面も考慮にいたれたOTらしいリハビリができるようにこころがけていきたいと思えます。



広告掲載についてのご説明

● 広告のサイズと料金(1掲載につき)

1 ページ	たて24cm×よこ16cm	40,000円
1/2 ページ	たて12cm×よこ16cm	20,000円
1/4 ページ	たて12cm×よこ8cm	10,000円

(一社)香川県作業療法士会賛助会員はそれぞれ半額となります。

● 広告の原版について

鮮明なものに限ります。写真・マークなども掲載できます。

いただいた原版はそのまま印刷されますので、サイズに収まるよう作成し、期日までにお送りください。(原版1部、コピー1部)

*ただし印刷の都合上若干、形などが変わることがあります。

掲載希望の方は、滝宮総合病院 作業療法士 木村勇介までご連絡ください。

TEL 087-876-1145 FAX 087-876-1302



～勉強会案内～

1. 平成26年度 地域包括ケア推進リーダー導入研修会のお知らせ

開催日程：平成26年11月3日(月)9：30～15：30
 場 所：未定(中讃地区の会場を予定：決定次第連絡させていただきます)
 対 象：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
 費 用：各県士会会員は無料 会員外は3,000円
 スケジュール： 9：00 受け付け
 9：30～12：30
 「地域包括ケアシステムについて」
 「地域ケア会議とは」
 12：30～13：30 昼食
 13：30～15：30
 「地域ケア会議に求められるPT・OT・STの役割」「模擬会議の実際と心構え」

※お申込み・問い合わせは、件名に「地域包括ケア推進リーダー導入研修会」と明記し、①氏名(漢字・フリガナ)②職種③所属施設名④会員番号を記入し、メールにて、下記アドレスまでお願い致します。
 地域包括ケアシステム推進委員会事務局
 香川県東かがわ市川東103-1 TEL：0879-25-1121
 阪本病院リハビリテーション科 砂川直子
 E-mail：sakuragawa@idm-hcg.co.jp

2. 2014年度四国ブロック活動分析研究大会のご案内

会 期：2014年11月16日(日)
 場 所：総合病院回生病院5F講堂
 (〒762-0007 香川県坂出市室町3丁目5番28号)
 内 容：症例検討・ワークショップ
 参 加 費：2,000円(当日徴収させていただきます)
 定 員：100名程度(※先着順)
 申込メ 切：2014年10月31日(金)正午まで
 問い合わせ：四国ブロック活動分析研究大会事務局
 shikokukatsubun@gmail.com
 〒762-0007 香川県坂出市室町3丁目5番28号
 総合病院回生病院リハビリテーション部
 作業療法士 藤本 弾
 TEL：0877-46-1011/FAX：0877-45-6410
 URL：http://shikoku-katsubun.jimdo.com

3. 第14回徳島県作業療法士会演題募集要項のご案内

会 期：2014年12月7日(日)
 場 所：徳島健祥会福祉専門学校
 (〒779-3105 徳島県徳島市国府町東高輪字天満369-1)
 応募資格：演題発表者は徳島県作業療法士会会員に限ります。
 応募手順：事前申し込み
 Eメールにて下記の必要事項を記入の上、件名を「第14回 徳島県作業療法学会 演題事

前申し込み」とし、窓口(E-Mail：)に送信して下さい。

【必要事項】①名前②所属③演題名(予定でも可)④演題作成についてサポートが必要かどうか⑤発表内容の要約

事前申し込みの締め切りは2014年8月9日(土)(当日必着)です。

申し込みの採否は2週間以内にE-Mail等でお知らせします。採用判定後、次項の抄録応募をお願いします。

抄録応募：応募原稿は学会誌に掲載します。原稿作成の際には、「原稿作成上の注意」「キーワード分類について」「原稿送付状の注意」をご参考の上作成して下さい。応募原稿の締め切りは2014年9月12日(金)(当日必着)です。

発表形式：口述発表。発表時間は7分以内で、質疑応答は3分以内とします(予定)。(多数の演題募集があった際には、学会運営委員の判断にてポスター発表に変更する場合がございます。その際には、決まり次第連絡致します。)

応募・お問い合わせ窓口
 〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字川久保30番地1
 きたじま田岡病院リハビリテーション科
 第14回徳島県作業療法学会 問い合わせ窓口
 TEL：070-5562-0644/FAX：088-698-9988
 E-Mail：kengakkai14@yahoo.co.jp(担当：澤口尋規)

4. 第13回日本マイオチューニングアプローチ(MTA)学会学術大会・技術セミナーin徳島

会 期：2014年12月20日(土)9：30～18：00(9：00受付)
 21日(日)9：30～15：40(9：00受付)
 場 所：徳島文理大学 徳島キャンパス 23号館
 定 員：学術大会 100名
 技術セミナー(基礎コース40名、体験コース40名)
 参 加 費：学術大会のみ 1,000円(当日参加：2,000円)
 体験コース 2,000円
 基礎コース(2日間)15,000円
 (1日目のみ=5,000円、2日目のみ=10,000円)

申込方法：E-Mailにて、お申し込みください。
 申込期限：学術大会 2014年12月13日(土)
 技術セミナー 2014年12月6日(土)

応募・お問い合わせ窓口
 日本MTA学会 第13回学術大会・技術セミナー事務局
 土佐リハビリテーションカレッジ 岡部孝生
 〒781-5103 高知県高知市大津乙2500-2
 TEL：088-866-6119/FAX：088-866-6120
 E-Mail：ptrc.okataka@tosareha.ac.jp

事務局連絡



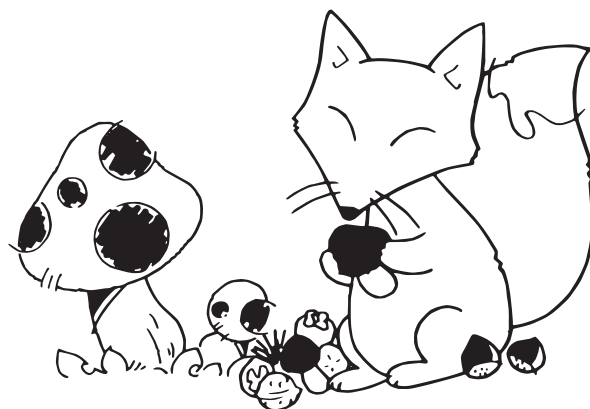
- 入会**
- 高谷 美紀 (西香川病院)
 - 角野 加奈 (かがわ総合リハビリテーションセンター病院)
 - 吉田 俊二 (キナシ大林病院)
 - 都築ゆう子 (創心会 高松中央)
 - 廣永 大祐 (穴吹リハビリテーションカレッジ)
 - 飯間 文 (高松協同病院)
 - 楠本 達也 (高松赤十字病院)
 - 田隅和加子 (屋島総合病院)
 - 多田 圭佑 (屋島総合病院)
 - 坪井美補子 (太田病院)
 - 松本 雅光 (県立中央病院)
 - 那須功二郎 (おさか脳外)
 - 高橋 俊行 (創心会 リハビリ倶楽部)
 - 多田 瑞紀 (大杉脳神経外科)
 - 南原 佑人 (老健まゆみの里)
 - 湊 一樹 (田村クリニック)
 - 榎並謙二郎 (麻田総合病院)
 - 浦岡 朝実 (おさか脳外)



異動 川嶋真紀子 (特養シオンの丘)→(総合ケアセンターヨハネの里)



退会 森 拓也
前田なつき
児嶋佐智子



■(一社)香川県作業療法士会ニュースNo63■

編集長：木村勇介 編集委員：渡田亜裕美・西城悠加・松江沙祐里・真鍋千絵・川口由起子・亀山多喜子・
香川真実・水口未紅・大岸未佳・西岡奈菜・安藤瑞基・津崎裕也